

教科	科目	必修・選択	履修条件	単位数	開講学習期間
数学	数学A	選択	なし	2単位	① 2 ③
開講曜日	開講時間数	必要時間数	必要一斉時間数	テスト回数	レポート枚数
日曜	8時間	3時間	2時間	2回	7枚

### 科目紹介と履修上のアドバイス

数学Aの学習内容は「場合の数と確率」「図形の性質」「数学と人間の活動」のうち、「場合の数と確率」と「図形の性質」を学習します。

「場合の数と確率」では、集合の基礎、順列、組合せについて学んだ後、確率の基本的な計算を学び、いろいろな事象に対応した確率を学びます。

「図形の性質」では、平面図形の基礎を学んだ後、三角形の性質と円の性質や円に関する様々な定理について学びます。

		数学A(東京書籍)	学習書	数学A(NHK出版)
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数と確率、図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</li> <li>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力に着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身に付けている。</li> <li>・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</li> <li>・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</li> </ul>	

### 面接指導計画

回	学習内容	教科書ページ	レポート	回	学習内容	教科書ページ	レポート
第1回	集合、輪の法則、積の法則	4-11	1				
第2回	順列	12-17	2				
第3回	重複順列、円順列、組合せ	18-23	3				
第4回	確率	24-37	3,4				
テスト	レポートNo.1~No.4						
第5回	三角形の性質	50-57	5				
第6回	円の接戦、円周角の定理 円に内接する四角形 接戦と弦のつくる角	58-65	6				
第7回	方べきの定理、2つの円 空間図形	66-69	7				
第8回	まとめ	150-165	5,6,7				
テスト	レポートNo.5~No.7						

